

かごんま
わっぜよかど!

鹿児島
かごんま



鹿児島港湾合同庁舎【平成30年度完成予定】



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

鹿児島営繕事務所

Kagoshima Government Buildings Office

「営繕」とは？

営繕とは「建築物の営造と修繕」のことをいい、建築物の建築（新築、増築、改築）、修繕、模様替を指します。国土交通省では、「官公庁施設の建設等に関する法律（以下『官公法』）」に基づき、国家機関がその事務を処理する庁舎などの「官庁施設」について、

- ①入札・契約、設計、積算、工事監督・検査などの整備
 - ②整備後も常に適切に機能を維持できるように、施設管理者へ保全指導
 - ③質の確保のため、技術基準類の作成（制改定）
- を主に実施しています。

営繕の主な施策と事務所の取組

主な官庁施設である庁舎は、官公法第4条で「国民の公共施設として、親しみやすく、便利で、且つ、安全なものとならなければならない。」とされています。また、行政サービスを提供する場として、常に適切に機能する必要があります。

鹿児島営繕事務所では、営繕部と連携しながら、宮崎・鹿児島県内における官庁施設（主に庁舎）の整備や保全指導を実施するとともに、得られた知見を技術基準類の作成にも役立てています。主要施策として以下の内容に基づき業務に取り組んでいます。

1. 安全な暮らしを支える官庁施設【防災・減災】

官庁施設は、来庁者の安全を確保するとともに、大規模地震や津波、風水害などに備えて、災害応急対策活動の拠点としての機能や行政事務の継続に必要な機能を確保する必要があります。

このため、国土交通省が定めた技術基準類に基づき、新たな施設の整備、既存施設に総合的な耐震性能や対津波性能を確保するための改修、危険箇所や老朽化した設備等の改修、施設管理者への指導や支援に取り組んでいます。



鹿児島地方裁判所名瀬支部
【平成24年度 耐震改修済】



油津港湾合同庁舎
(宮崎海上保安部等が入居)
【平成25年度 耐震改修済】

2. 人にやさしい官庁施設【ユニバーサルデザイン、まちづくりへの貢献】

本格的な少子・高齢社会の到来を背景として、ユニバーサルデザインの考え方を導入し、年齢や障がいの有無に関わらずすべての人が安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できるよう、新たな施設の整備、既存施設の増築に伴うリニューアルなどに取り組んでいます。

また、施設の立地状況に応じて、地元関係者のニーズを反映しながら整備することで、地域のまちづくりへの貢献も目指しています。



多目的
便所の
整備例



指宿税務署
(既存施設のユニバーサルデザイン化)
【平成24年度完成】



都城地方合同庁舎(地域のまちづくりに貢献)
【平成15年度完成】

3. 官庁施設における適正な保全とストックの有効活用【長寿命化・老朽化対策】

既存官庁施設の膨大なストックにおいて、年々、施設の老朽化が進んでおり、今後、大規模修繕や大型設備機器の更新が増えるため、施設の老朽化対策を計画的かつ効率的に進めていく必要があります。

既存施設を安全により長く利用し、トータルコストを軽減するため、施設管理者に対し適正な保全を促す指導、老朽化の進行を防ぐ改修により、官庁施設の長寿命化を目指しています。



保全指導のため、施設管理者に外壁劣化状況の確認方法を実演
(宮崎・鹿児島で開催の「官庁施設保全連絡会議」)

4. 地球環境に配慮した官庁施設【環境対策】

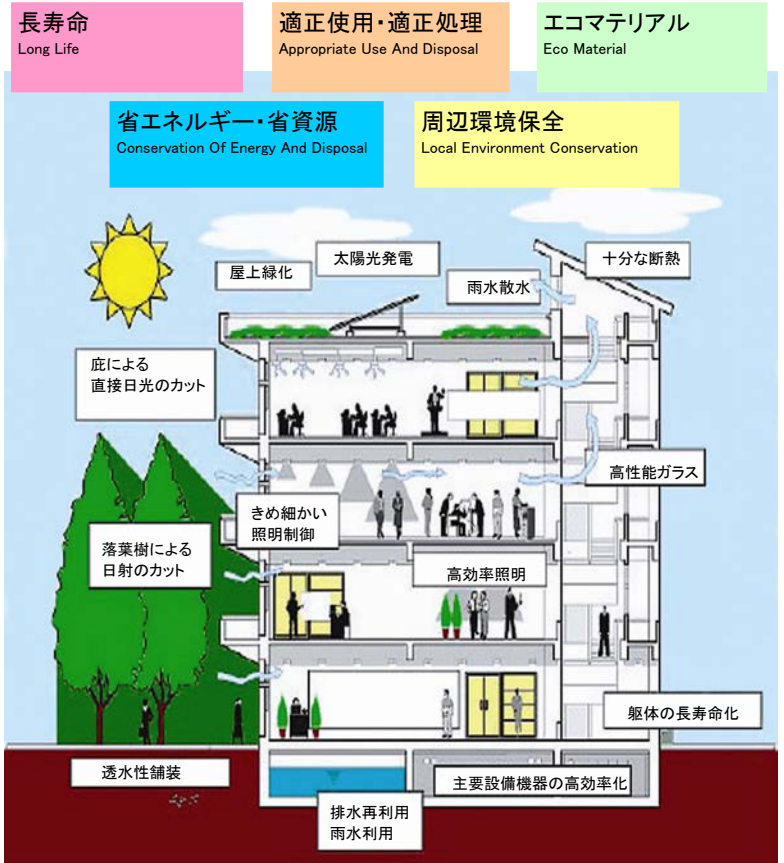
地球温暖化をはじめ、資源・廃棄物等の様々な環境問題へ対応するため、エネルギー使用量の削減に向けた太陽光発電や高効率機器の導入、循環型社会に向けて環境負荷の少ない資機材の利用や建設副産物対策（発生抑制・再使用・再資源化）、緑化の推進や雨水利用などにより、環境に配慮した官庁施設の整備を目指しています。



加世田公共職業安定所
(太陽光発電設備)
【平成26年度完成】



種子島地方合同庁舎
(屋上緑化)
【平成16年度完成】



環境に配慮した官庁施設のイメージ

5. 官庁施設の木造化及び木質化【木材の利用促進】

木材利用の推進が、地球温暖化防止や循環型社会の形成に貢献することに鑑み、「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」に基づき、木造庁舎の整備や内外装材の木質化に取り組んでいます。



(↑ 左側：庁舎棟、右側：会議室棟)
(会議室棟の壁にCLT(直交集成材)を採用→)



会議室 完成予想図

西都児湯森林管理署(木造庁舎として整備)
【平成30年度完成予定】



加世田公共職業安定所(外壁の一部に木材を利用)
【平成26年度完成】



指宿税務署(会議室の腰壁及び天井の一部に木材を利用)
【平成24年度リニューアル】

●PFI事業により整備された官庁施設

PFI (Private Finance Initiative)とは、民間の資金や経営能力、技術的能力の活用により、効率的かつ効果的な公共サービスの提供が期待される手法で、民間事業者の設計、建設、維持管理・運営などを一体化して発注し、民間のノウハウを活用しながら、役割やリスクを官民で適切に分担するものです。

鹿児島県警察学校は、このPFI事業により整備された施設で、現在は、維持管理・運営の業績監視について、施設管理者からの要請に応じて、技術支援を行っています。



鹿児島県警察学校
【平成20年度完成。現在は維持管理・運営の事業継続中】

●官庁施設の整備にあたり、地方公共団体とともに、地域連携に向けた方策を検討

鹿児島（鶴丸）城跡の東側では、今後約2年間にわたり、民間主導による御楼門（ごろうもん）の復元、鹿児島県による御角櫓（おすみやぐら）の復元や石垣修復の整備が進んでいます。これら御楼門等の対面に位置する場所で、ほぼ同時期に、鹿児島第3地方合同庁舎を整備する予定です。

このため、鹿児島第3地方合同庁舎の整備にあたり、国公有財産の最適利用推進に向けた取組として、平成28年度に「鹿児島第3地方合同庁舎地域連携検討分科会」を設置し、鹿児島県、鹿児島市及び国（九州財務局及び九州地方整備局）が連携しながら、

- ① 「歴史と文化の道」との景観形成に関する事項
- ② 鹿児島（鶴丸）城御楼門復元及び石垣修復との連携に関する事項
- ③ 庁舎機能を活用した連携方策等

のテーマを検討した結果、

- ・街並みとの親和性を高め、親しみやすい開放感を演出する「エントランスモール」の整備
- ・既存ポケットパークを、御楼門の写真撮影や展望などでもできるスペースとして改修
- ・北側来客用駐車場の閉庁日の一般利用について、今後調整などの内容を施設の整備や運営に反映することとしています。



注)現時点のイメージであり、今後の検討により変わることがあります。

鹿児島第3地方合同庁舎（地域連携方策の検討イメージ）
【平成30年度着手、平成34年度完成予定】

公共建築相談窓口

国の機関の官署、独立行政法人、公団等の政府関係機関、地方公共団体等を対象に、公共建築全般についての相談に成ります。【窓口】鹿児島営繕事務所技術課長までお問い合わせください。

国の機関の方へ

こんなときどうしていますか？

- Q 庁舎の新営あるいは増築等を要求したいのだが、規模・概要等予算要求に必要な資料の作成方法がよくわからない。
- A 営繕事務所では、庁舎の新営・増築についての相談あるいは、要求資料作成の協力を行っています。

- Q 庁舎の修繕あるいは模様替をしたいのだが、技術的にどのように改修したらよいかよくわからない。
- A 営繕事務所では、施設の修繕・模様替等が必要となった場合、調査を行い、適切な方法のアドバイス、併せて要求資料作成の協力を行っています。

- Q 建物あるいは設備機器の点検整備や運転管理などの保全（メンテナンス）業務をどのようにしたらよいかよくわからない。
- A 営繕事務所では、保全業務のアドバイスおよび実地指導を行っています。

※その他、長期営繕計画等施設全般についてのアドバイスも行っています。

地方公共団体等の方へ

地方公共団体等が発注する工事の総合評価落札方式の入札手続きにおいて、落札者決定基準を定める際の技術的なアドバイスなどを行っています。

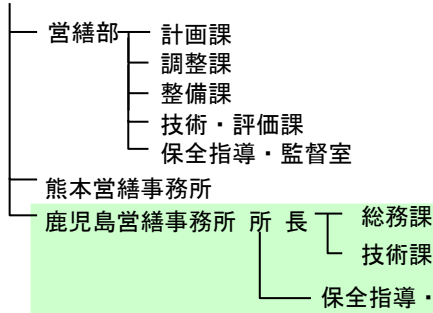
事務所概要

沿革

- 昭和20年 8月28日 九州に運輸省建設本部門司地方建設部が置かれ、鹿児島地区の業務を所掌するため鹿児島県始良郡隼人町に隼人駐在が置かれました。
- 昭和23年 7月10日 建設省設置法により福岡地方建設部隼人駐在となりました。
- 昭和24年 4月 1日 建設省九州地方建設局隼人駐在となりました。
- 昭和24年 7月 1日 建設省九州地方建設局鹿児島営繕工事事務所として、鹿児島市郡元町に設置されました。
- 昭和30年 3月31日 鹿児島市上荒田町152番地に新庁舎が完成し移転しました。
- 昭和42年12月11日 鹿児島市山下町13番21号に鹿児島合同庁舎が完成し移転しました。
- 平成13年 1月 6日 省庁再編に伴い国土交通省九州地方整備局鹿児島営繕工事事務所と名称変更となりました。
- 平成15年 4月 1日 鹿児島営繕事務所と名称変更となりました。
- 平成16年 4月 1日 営繕監督官を保全指導・監督官に、工務課を技術課に、工務係を技術係にそれぞれ組織改正しました。
- 平成23年 4月 1日 技術課に調査・保全係を設置しました。

組織表

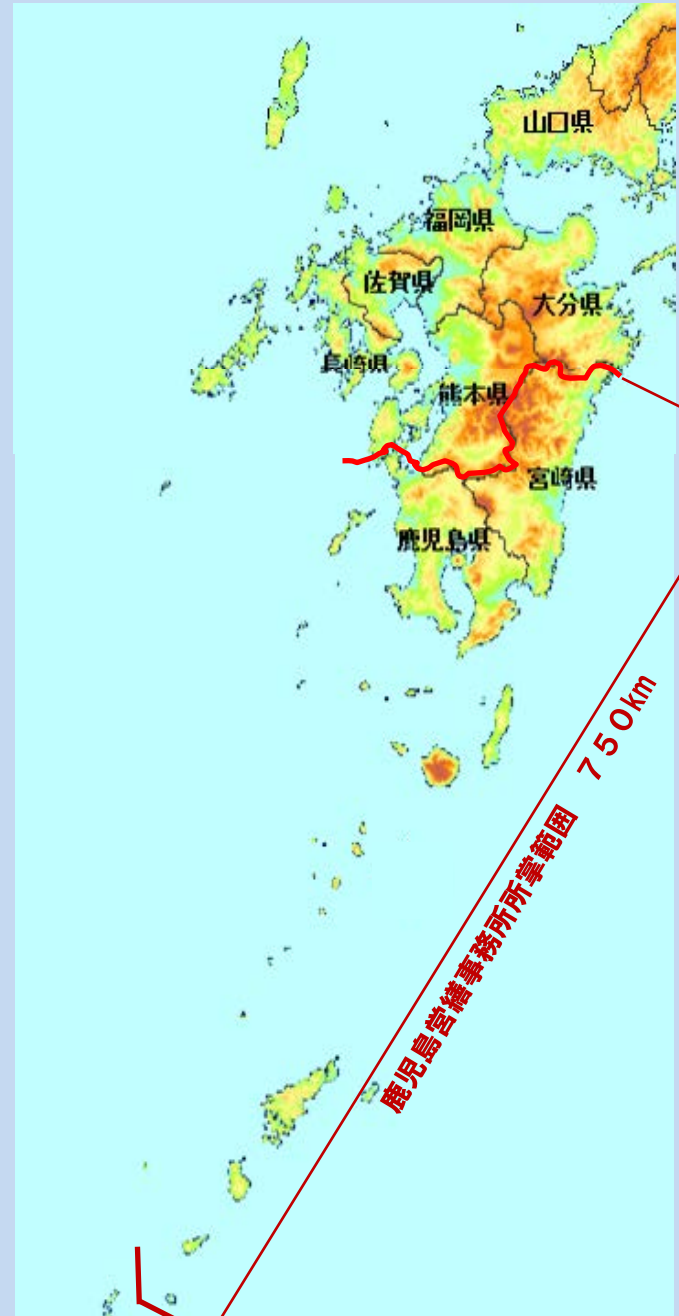
国土交通省九州地方整備局



国土交通省 九州地方整備局
鹿児島営繕事務所

〒892-0816 鹿児島市山下町13番21号 鹿児島合同庁舎3F
TEL 099(222)5188 FAX 099(222)5189
HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/kaei/>

当事務所は、鹿児島、宮崎両県を所掌範囲としており、管内には、鹿児島県の離島(種子島、屋久島、奄美大島、徳之島、沖永良部島等)があり、その範囲は南北750kmにも及んでいます。



鹿児島営繕 事業概要 2018年度

鹿児島営繕事務所が整備(新築・改修等)を担当している官庁施設

施設数	178
延べ面積 (㎡)	216,267

(2017年度 官庁建物実態調査の実施施設による)

鹿児島営繕事務所が保全指導(メンテナンス業務の助言や実地指導等)を行っている官庁施設

施設数	430
延べ面積 (㎡)	941,891

(2017年度 保全実態調査の実施施設による)



宮崎法務総合庁舎 (平成20(2008)年度完成)



指宿税務署 (昭和50(1975)年度完成, 平成24(2012)年度増築)



加世田公共職業安定所(平成26(2014)年度完成)

主要施設完成年度

地方合同庁舎

- 1967 宮崎地方合同庁舎
- 1967 鹿児島地方合同庁舎
- 1987 名瀬地方合同庁舎
- 1988 川内地方合同庁舎
- 1993 鹿児島第2地方合同庁舎
- 1994 鹿屋地方合同庁舎
- 1996 延岡地方合同庁舎
- 1996 徳之島地方合同庁舎
- 2002 大隅地方合同庁舎
- 2003 都城地方合同庁舎
- 2004 種子島地方合同庁舎

一般庁舎など

- 1964 出水税務署
- 1964 川内税務署
- 1965 宮崎税務署
- 1965 日南税務署
- 1965 種苗管理センター知覧農場
- 1966 国土地理院鹿屋人工衛星観測室
- 1968 高鍋税務署
- 1968 串木野海上保安部
- 1971 宮崎県警察機動隊
- 1971 種子島薬用植物栽培試験場
- 1972 鹿児島海上保安部指宿海上保安署
- 1975 伊集院税務署
- 1975 指宿税務署
- 1977 鹿児島地方法務局
- 1977 動物検疫所門司支所鹿児島空港出張所検疫場
- 1979 国分公共職業安定所
- 1979 鹿児島運輸支局
- 1982 鹿児島地方法務局屋久島出張所
- 1983 宮崎労働基準監督署
- 1983 第十管区海上保安本部中之島験潮所
- 1984 宮崎公共職業安定所
- 1990 宮崎地方法務局分室
- 1993 鹿児島公共職業安定所
- 1997 大隅公共職業安定所
- 1998 鹿児島労働基準監督署
- 1998 出水公共職業安定所
- 1999 宮崎地方气象台
- 1999 日南公共職業安定所
- 1999 鹿児島地方法務局霧島支局
- 2000 宮崎県警察学校
- 2000 鹿児島県警察機動隊
- 2000 指宿公共職業安定所
- 2001 名瀬海上保安部古仁屋海上保安署
- 2001 鹿児島税務署
- 2001 日南労働基準監督署
- 2002 川内公共職業安定所宮之城出張所
- 2003 鹿児島裁判所合同庁舎
- 2003 都城裁判所合同庁舎
- 2005 鹿児島障害者職業能力開発校
- 2006 種子島簡易裁判所
- 2008 鹿児島県警察学校
- 2009 鹿児島運輸支局(標板取付上屋)
- 2009 鹿屋地方合同庁舎(薬品庫・洗車場)
- 2010 鹿児島地方法務局奄美支局
- 2010 伊集院税務署(増築)
- 2012 指宿税務署(増築)
- 2013 日南税務署(増築)
- 2014 加世田公共職業安定所
- 2015 鹿児島県警察機動隊(訓練施設)

港湾合同庁舎

- 1956 名瀬港湾合同庁舎
- 1962 鹿児島港湾合同庁舎
- 1968 細島港湾合同庁舎
- 1971 油津港湾合同庁舎
- 1977 喜入港湾合同庁舎
- 1992 志布志港湾合同庁舎

法務総合庁舎

- 1968 名瀬法務総合庁舎
- 1971 鹿児島法務総合庁舎
- 1988 日南法務総合庁舎
- 2008 宮崎法務総合庁舎



鹿児島地方法務局 奄美支局 (平成22(2010)年度完成)



鹿児島県警察機動隊(訓練施設) (平成27(2015)年度完成)